

登録コード	EKG08900	開講年度	2026			
授業科目	特別支援教育コーディネーターの役割と支援				担当教員	上村 恵津子
英文授業名	The role and support of special needs education coordinators				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限	履修学年
講義室	教育 E 1 0 6		授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】			【授業の達成目標】		
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ					
	教育の専門職としての学識・技能				学校心理学およびチーム援助の視点からコーディネーターの特徴と役割を理解することができるようになる。 コンサルティやチームの実態を踏まえコンサルテーションのあり方を検討することができるようになる。 インクルーシブ教育・合理的配慮について理解することができるようになる。	
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ, 2 4 E Aカリ					
	子どもの多様なニーズへの対応力				26・25EAカリ 行動観察により子どもの実態を把握・分析することができるようになる。 24EAカリ 学校心理学およびチーム援助の視点からコーディネーターの特徴と役割を理解することができるようになる。 行動観察により子どもの実態を把握・分析することができるようになる。 インクルーシブ教育・合理的配慮について理解することができるようになる。	
	2 4 E Aカリ					
	協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力				コンサルティやチームの実態を踏まえコンサルテーションのあり方を検討することができるようになる。	
(2)授業の概要	本授業では、講義・演習・実践を通して基本的な知識と技能の習得を図る。 講義により基本的な知識を理解し、演習で技能の習得を図り、実践で学校現場における知識と技能の活用の可能性と課題を明らかにする。 担当教員が、特別支援学校・教育相談の実務経験を活かして講義・演習を行います。					
(3)授業計画	第 1 回：ガイダンスー本授業の進め方ー 第 2 回：特別支援教育コーディネーターの役割と特徴（１）ーコーディネーション概論ー 第 3 回：アセスメント１ー行動観察（日誌法）ー 第 4 回：アセスメント２ー行動観察（時間見本法）ー 第 5 回：アセスメント３ー行動観察（インリアルアプローチとは）ー 第 6 回：アセスメント４ー行動観察（インリアルアプローチ・事例の観察）ー 第 7 回：アセスメント５ー行動観察（インリアルアプローチ・事例の分析）ー 第 8 回：コンサルテーション１ーコンサルテーション概論ー 第 9 回：コンサルテーション２ーコンサルテーションの実際（同僚）ー 第10 回：コンサルテーション３ーコンサルテーションの実際（保護者）ー 第11 回：コンサルテーション４ーコンサルテーションの実際（支援チーム）ー 第12 回：保護者との連携 第13 回：インクルーシブ教育と合理的配慮 第14 回：まとめ					
(4)成績評価の方法	成績評価の考え方は以下の通りである。 ・授業の達成目標 ～ に関わる「授業実績」：40％ ・授業の達成目標 ～ についての理解度を確認する「振り返りレポート」:40％ ・授業の達成目標 ～ の到達度を確認する「最終レポート」：20％					
(5)履修上の注意	・各講義のテーマについて、学校現場の課題と自己課題をまとめて授業に参加すること。 ・授業後、扱った内容を学校現場に当てはめ、自己の役割と課題をまとめておくこと。 ・演習、ディスカッションでは積極的に発言すること。 ・毎回の振り返りおよび最終レポートは、指定された方法で〆切までに提出すること。					
(6)質問,相談への対応および連絡先	上村研究室(N220) tel：026-238-4243 e-mail：kamietu@shinshu-u.ac.jp					
(7)成績評価の基準	「卓越している」 ～ ：子どもの実態理解と支援について、ねらいに示した ～ のすべての項目の視点から検討することができる。 「かなり上である」 ～ ：子どもの実態理解と支援について、ねらいに示した ～ のうち3つの項目の視点から検討することができる。 「やや上にある」 ～ ：子どもの実態理解と支援について、ねらいに示した ～ のうち2つの項目の視点から検討することができる。 「水準にある」 ～ ：子どもの実態理解と支援について、ねらいに示した ～ のうち1つの項目の視点から検討することができる。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可					

(8)事前事後学習 の内容について	事前学習：授業テーマに関わる学校現場の課題、自己課題をまとめておくこと。 この内容を、毎回授業後に提出する振り返りに含め記載すること。 事後学習：授業で扱った内容を自らが関わる現場に当てはめ、自己の役割と課題をまとめておくこと。 この内容を、最終レポートに含めて記載すること。 ・この授業は90時間の学習を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
【教科書】	指定しない
【参考書】	授業の中で適宜紹介する